

報 告 書

島田市議会議長 藤本善男 様

島田市議会議員	大 関 衣 世
島田市議会議員	清 水 唯 史
島田市議会議員	石 川 晋 太 郎
島田市議会議員	曾 根 達 裕
島田市議会議員	提 坂 大 介
島田市議会議員	村 田 千 鶴 子
島田市議会議員	森 伸 一

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和5年11月4日（土）
午後1時30分～午後3時15分
- 2 会場 島田市役所 大会議室西
- 3 参加者数 23人（男性21人、女性2人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 提坂
 - (3) 挨拶（概要） 大関
 - (4) 報告 厚生教育常任委員会 森
経済建設常任委員会 石川
総務生活常任委員会 清水
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 村田

5 報告事項

(1) 議会活動の報告について

① 厚生教育常任委員会

令和4年度一般会計決算認定のうち、重要案件として「放課後児童健全育成事業」については、昨年引き続き定員確保の観点から審査した。さらに、子どものための環境整備として、「学校施設整備」及び「学校給食運営事業」について、市長に対し、学校施設の更なる充実や、物価高騰による食材費に対し給食費の値上げをすることのないよう、予算確保に向けた提言書を提出した旨を報告した。

また、第一小学校の解体工事の請負契約、3台のスクールバス購入に際し置き去り防止装置の設置、子育て支援（臨床心理士の状況、子育て短期支援の状況）等について議論したことを報告した。

② 経済建設常任委員会

令和4年度一般会計決算認定のうち、住宅団地汚水処理場の収入額が1,000万円ほど不足した理由（配管の更新工事）や、茶業振興協会への補助金の用途（宣伝活動費）、令和5年度一般会計補正予算にてモニターツアーの実施に向けた新規事業「インバウンド向け観光コンテンツ造成事業」が計上された旨を報告した。また、令和4年度公営会計企業会計決算認定において、所管する水道事業会計・公共下水道事業会計ともに認定した旨や、料金改定（値上げ）に伴う島田市下水道条例の一部を改正する条例、敷地面積の最低限度の引き下げと建築物等の用途制限緩和に関する島田金谷インターチェンジ周辺地区計画に関する条例の一部を改正する条例を可決したことを報告した。

③ 総務生活常任委員会

まず、本年度から重点事業評価シート（過去3年間の決算状況、予算の執行状況、将来の予算の目標値等が分かりやすい資料）が作成され、これを基に各委員会で審査した。今後、これは公開されるので、ぜひ見てほしいと案内した。

令和4年度一般会計決算認定のうち、「窓口受付等包括委託事業」については来年度の契約更新の中で民間業者の業務の評価の検証を行うこと、「自治会活動支援事業」では自治会内のそれぞれの施設にインターネットの環境を整備してほしいとの声に対し、今後検討すべきと考えること、「コミュニティバス運行管理経費」については、長野県の安曇野市へAIを使った新しい交通システムのコミュニティバスシステムの行政視察を予定しており、効率的な経費削減及び地元の業者（タクシー会社等）との協働について今後議論されることを報告した。

「シティプロモーション推進事業」については、島田市緑茶化計画の中で、地域の魅力を発信するだけではなく、イベントの中で移住・定住の相談窓口を設置したことで、1組が島田市に移住するきっかけとなった。成果が期待されるので今後も継続事業として取り組む必要であると考え、市長に対し、予算確保に向けた提言書を提出したことを報告した。

④ 報告に対する質疑

Q GIGA スクールにおけるパソコンの貸与は、今年の小学1年生は昨年の中学3年生の物を使用することになっている。途中で壊れた場合、子どもに不利益になっていないか。実際にどんな状況であるか。

A 自然に故障する台数は月平均26台、事故（意図的なもの）による故障台数は月平均10台で、計36台である。当初の予算では不足するため、今回補正予算で対応した。また、事故の内容によっては保護者の負担があるので、保険へ加入することも検討したが、台数があまりに多いので保険を掛けることはできないと聞いている。

(2) 意見及び情報の交換について

今回のテーマ 「 防災対策についての意見交換 」

司会 本日は防災対策についてだが、全戸配布された新しいハザードマップについて何かご意見があれば伺いたい。

Q 今年4月に届いた。15年前に配布された前回のものは1枚もので分かりやすかったが、今回のものは地図版がなく冊子版で情報量が多く、各家庭に配布してどうするのかと率直に感じた。危機管理課主催の説明会で地図について質問したところ、切り貼りをしてほしいとの回答があった。当自主防災会では、市から配布されるマップが分かりやすくなるように地域の防災会だよりを作り、一緒に各戸配布をした。

A このことについて一般質問をしたところ、危機管理課において、住民の方々が希望すれば出前講座を開催し説明に伺いたいとの回答があった。また、各地域でどこへ逃げるか等の問題形式をA4サイズで作れば、今回のものも見るようになるのではと提案をした。

A 委員会で、ハザードマップは地震の際の避難場所と洪水の際の避難所は違うので、ハザードマップ内で考慮するよう質問した。函南町は、地域が狭いので1枚で作成できるが、当市はエリアが広いので冊子版となった。ホームページで見てもらえば詳細に分かるので活用してほしい。

A 六合の岸地区では、台風の際に大津谷川が氾濫し避難所の周辺が水浸しになったので、地域で検証してほしい。委員会でも検討していく。

司会 皆さんの周りで危険と感じている所、防災で心配されていることやお困りごとがあれば伺いたい。

Q 東光寺谷川は何年か1度に氾濫する。拡張工事があると聞いているが、進捗状況はどうか。

A 今年度も実施しているが、上流についてはあと20年以上かかるようである。

Q 小学校・中学校・高校の防災教育についての現状はどうか。

A 令和4年度には小・中学校ともに3回である。危機管理課では、小学校・中学校・高校や自治会などの各種団体を対象に「災害なんでも教室」の出前講座

を行っている。

(3) 市等への要望事項

- ・ ハザードマップの計画規模の降雨によると、大井川の氾濫により横井町の半分ほどが浸水の恐れがある。また、横井2丁目は早期立ち退き区域となり、使用可能な避難所は一部となる。6月に危機管理課に対し、避難所の確保として、地元の事業所（アピタ・駅・矢崎計器等）をお願いしていただきたいと依頼したが、その後、交渉していただいているのか知りたい。
- ・ 旭町自治会では令和3年から「自治会情報通信機器整備補助金」にて、6台のパソコンを購入し、防災会での安否確認や各戸・各組の伝達方法等に活用している。もっと購入台数を増やしDX化を推進したい。そこで、「自主防災組織育成対策補助金」でも購入できるようにしてほしい。
（※次回の委員会で旭町での活用方法を情報提供し、改正できるか確認する。）
- ・ 一般質問は議場放映がされているが、他の委員会も公開の予定はあるのか。
今のシステムでは配信されるまでに時間がかかり、タイムリーではない。
（※公開予定はない。YouTube いろいろと制限があり、議会は公の場にて全て包み隠さず配信する必要があるため、今のシステムが適している。なお、事務局長より、本会議終了後から動画の公開までに概ね2週間かかるが、作業的効率を上げ、できるだけ早く公開できるよう努めていきたいとの答弁があった。）
- ・ 10月12日に開催された自主防災会議において、要支援者名簿は会長と防災委員長止まりで、他の者には見せないようにと言われたが、新しく変わった担当者の勘違いではないか。平成28年に改定された「島田市要配慮者避難計画」の中に、避難行動要支援者の保護・情報共有・災害時の支援の観点から、本人の同意の有無に関わらず関係者に提供できるようになった。
- ・ 小学校・中学校・高校の防災教育や自治会などの各種団体への「災害なんでも教室」は、こちらから要請するのではなく、教育委員会、危機管理課からも積極的に開催していただきたい。

6 まとめ（ 所見 ）

新庁舎での初めて開催する議会報告会であったが、三連休中日ということもあり、参加人数は期待していたより少なく残念であった。テーマを防災対策についての意見交換としたので、参加者には、各地域で自主防災にご尽力していただいている方が多く、体験に基づいての質問や厳しいご指摘もいただき、沢山の気づきをいただいた。テーマ以外に、「リニアについて市長は賛成して活動しているが、市長、島田市にメリットはあるのか」という質問に対しては、市長の発言も含めて議会としての答弁は難しいとして回答を差し控えた。報告会終了後の議場見学では、議場の明るさと木をふんだんに使っている点が好評であった。